災害伝承の取組事例(H28年度) 福山市神辺町 (堂々川砂留群)

●● 概 要 ●●

10月9日(日) 全国砂留シンポジウム(神辺文化会館)

- 一部 歴史と自然と環境
 - ・民話 鬼伝説ゴンとハチ DVD放映
 - ・堂々川砂留における小学生の活動状況
- 二部 砂留シンポジウム
 - 特別講演 尾島 勝 福山大学名誉教授 「芦田川下流域 神辺地区の

御領遺蹟と砂留遺構の歴史伝承」

- ・パネルディスカッション
- コーディネーター:向井 厚志(福山市立大学教授)
- パネラー:加藤 輝和(長野県牛伏鉢伏友の会)
 - 光成 良秀(広島県別所砂留を守る会)
 - 田中 保士(福井県田倉川と暮らしの会)
 - 友道 康仁(広島県東部建設事務所)
 - 蒲原 潤一(長野県建設部参事兼砂防課長)
 - 土肥 徳之(堂々川ホタル同好会)

10月10日(月) 現地巡り(堂々川砂留 別所砂留)

- 10月18日(火) 砂防出前講座(神辺中学校)
- ・土砂災害に関する講義

・堂々川砂留に関する講義

・地域のハザードマップ作り

土砂災害危険箇所など自分が住む地域の危険 な箇所を知る

全国砂留シンポジウムの開催 (地域の災害伝承の取組)



神辺中学校砂防出前講座 (語り部となり地域の過去の災害を伝える) (地域の八ザードマップ作り)

全国砂留シンポジウム













土砂災害が多発した堂々川流域において, 江戸時代に福山藩によって整備された砂防施設。現存する施設のうち8つの砂留が平成18年に登録有形文化財に登録





砂防出前講座





